トピック2つ

香川縣　森安千秋

(1) 歳　　差

趣味の天文人にとつて，最大のあこがれは，南カリフオルニヤの大反射鏡でみる球狀星團よりも，おそらくは永遠に地平に現はれる事のない南極近い星々であらう．あの南十字等も昔は日本でもよく見えたとは，屢々きく事であるが，正確に計算してみると，約1600年まへまでは日本中部の南天に見えたはづである．キリスト處刑の夜は，22時頃十字の足の α 星が7度の高さにエルサレムの地平に登つたであらう．奈良朝時代にはまだセンタウル座の2つの星や，十字の β は見えて居たが，サヾンクロスの全容が沈んでしまつたのはつい此間の事である．しかし又やがて8000年もたてば北緯35度の地平にあの4つ星がみえる夜が來ようが，その時はもう地平に直立する神々しい姿ではなく，タドタドしい足どりでゴルゴダにかつがれてゆく傾いた十字架の形である．5000年後にはアルフア・センタウリも見えようが，アカ1ナ1なら500年もすれば立派に見える．ラツセルの天文學の譯者は6000年前日本や英國では鯨座は見えなかつたと書いてあるが，英國ではともかく日本から鯨座の見えなかつた時代は絶對にない．1萬何千年かたつと織女星が北極星になると言つてよろこぶ人があるが，その頃にはシリウスが見えなくなるし，わるくするとオリオンも全部は見えまい．シリウスは距離が近いから固有運動の影響等もかなり強くあらはれて，8500年後には沈んでしまふ．そして約8000年の間は日本內地からは見えないであらう．シリウスの見えない1萬年後の北緯35度は思つたばかりでも淋しさの極みではないか．英國に居たらオリオンも全く地平に現れない．しかし又シリウスが見えなくなると，小マゼラン星雲と巨嘴鳥座の大星團が見える樣になる．1萬年後にはこの星雲は20度の高さに南中するはずだ．大マゼラン星雲をみる見込は先づない．大陸の移動による緯度の變化を待たなければならないが，その頃にはもう固有運動によつて星座の姿態は全々くづれて何一つ見わけもつくまい．

(2) グリニチの天頂

いつか Eddington 教授への私信のついでに「私は初冬のたそがれ，北西の

地平低く赤い瞳をすえて居る龍座γ星をみて"グリニチの天頂が見える！"とつぶやきながら，程近いケムブリヂ天文臺のあの古い建物を想ひます．そしてそこに居られる先生の視角がオリオン座アルファ星の視直徑よりわづか小さい等と思ひます」と言ふ樣な事を書いてやつたものだ．ところが早速「グリニチでは龍座ガムマをゼニス・スタ1とよんで居る．日本から遙かグリニチの天頂をながめるとは面白い」と書いてよこしてくれた．私はケムブリヂへ行つた事はないが，教授から天文臺の繪はがきをもらつた事がある．龍座ガムマがゼニス・スタ1と呼ばれて居る事は野尻先生にも敎へられた．僕はいつも5月の夕方北東のスカイラインに織女星を見ると，すぐリク天文臺の大ドームを想ふ．その頃彼女は正しくハミルトン山の天頂に居るはずだ．南東の地平に頭をもたげるさそりにはニユージランドを感じる．冬西天に直立する十字の首星に，ヴエニスを想ひアルプスを想ふ．こんな事を言つて倉敷の小山先生に笑はれた事がある．(3月9日)

言葉の不思議

日本と支那とで，漢字の用ゐる方(或は其の意味)に大きい違ひのある場合が多い．例へば「書房」は，日本では本屋だが，支那では藝者屋のことだ．又，「當舖」は，日本では此の店又は我が店舖といふ意味だが，支那では質屋のこと．又，「用心」は支那では熱心に實行する意味だから，「火の用心」と言へば，火が盛んに燃えるといふことになる．「盜難豫防」は，盜は豫防し難しといふ意味である．

さて，天文用語でも，「蛇遣ひ」ならば Ophiuchus の意味だが，「蛇遣」とかくと，蛇が何かを遣ふといふことになる．又，「畫架け」ならば Pictor の意味でわかるが，「畫架」だと畫が何かを架するといふことになる!!

(天界4月號226頁質疑欄中の隕石中の金剛石に就いての問題)

子供の科學昭和2年9月號の28頁に，

「隕石が地に落ちると急劇に冷へるためと急にそのため壓力を生ずるので，その内に含まれてゐる炭素が結晶して金剛石になることがある．」

と見えております．　　——大阪　横山俶郎——